南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和３年５月号
担当〔山田〕
NO.100

なくてはならないもの！

昭和 40 年代の前半ですから，今から 50 年以上も前のことです。当時，大流行し誰もが口にしたことのあるＣＭのキャッチコピーに，

クリープを入れないコーヒーなんて･･･

というフレーズがありました。このフレーズの後に続く言葉は，何種類も放送されていたようです。

・星のない夜空のようなもの
・フィルムの無いカメラのようなもの
・ホームランの出ない野球のようなもの
など

「なくてはならないもの」「物足りなさ」などといったことを例えて表現していた当時のＣＭでしたが，ほぼ同じ時代にこれによく似た話を子どもたちにされた教皇様がいました。現教皇フランシスコから５代前のヨハネ２３世教皇様です。

ヨハネ２３世教皇様は，聖母マリア様への信心が特に深く，毎日，朝・昼・夕方にロザリオの祈りの喜びの神秘・苦しみの神秘・栄えの神秘を欠かさず唱えておられたそうです。（当時は，光の神秘はまだありませんでした）

子どもたちが大好きで，その信仰教育も重んじておられたヨハネ２３世教皇様は，ある子どもたちとの集いの中で，次のように話をされています。

祈りのない一日は，太陽のない空のようなもの，花のない園のようなものです。だから毎日少なくともロザリオの一連（アヴェ・マリアの祈り１０回）を唱えることを約束してください。

カトリック信徒にとってロザリオの祈りをなくてはならないものと考えておられたヨハネ２３世教皇様でしたが，今のフランシスコ教皇様もマリア様への信心をとても大切にされています。フランシスコ教皇様は，聖母月の５月の間は，新型コロナウイルス感染症のパンデミックの終息を願って，毎日ロザリオの祈りを唱えるように全世界に呼びかけています。ナザレやルルド，ファティマなど世界の３０カ所でのロザリオの祈りは，聖母月の期間中，バチカンの公式メディアを通してライブ配信されていますが，２１日（金）には，被爆マリア像を前に祈る浦上教会からのロザリオの祈りが配信されました。

学校生活の一日が祈りで始まり，祈りで終わる南山小学校にとっても，祈りはなくてはならないものです。特に，マリア様に捧げるロザリオの祈りは，創立当初から歴代の神父様，シスター方の指導の下にとても大事にされてきました。５月の聖母月と１０月のロザリオの月には，全校児童が聖堂に集まり声を合わせ心を合わせてロザリオの祈りを唱えていますが，今は新型コロナウイルス感染症対応のため一堂に集まることができないので，各教室で唱えています。毎日それぞれの意向をもって唱えるロザリオの祈りですが，１２日（水）と１８日（火）には，新型コロナウイルス感染症の終息を願って祈りました。

南山小学校にとってもロザリオの祈りはなくてはならないもの，わたしたち一人ひとりの願い，学校の願いをマリア様が神様に取り次いでくださるように，これからもロザリオの祈りを大切にしていきたいと思います。

のびのび教室について

今年度からのびのび教室には毎月の「のびのびカード」を提出して参加するようになりました。参加するための流れは，以下の通りです。

① 月末に翌月の「のびのびカード」を担任か担当の先生にもらう。
② 参加する日は，家の人に日にちを記入し押印をしてもらって，登校後すぐに「のびのびカード」を担任に提出する。
③ 担任は，提出された「のびのびカード」を担当の先生に渡す。
④ 担当の先生は，全体の参加表に記録をし，「のびのびカード」は，のびのび教室の先生に渡す。
⑤ のびのび教室の先生は，学校印を押印し，参加しに来た児童に「のびのびカード」を返す。
⑥ 月の終わりには，その月の代金を計算し、「のびのびカード」といっしょに封筒に入れて担任に提出する。

のびのび教室の代金は１回２００円です。

スクールバスの発車時刻を待つため，サッカーやコーラスの始まりを待つため，また，お兄さんやお姉さんの授業が終わるのを待つためなどでのびのび教室に参加する場合は無料です。これらの場合は，「のびのびカード」の提出も必要ありません。

のびのび教室で走り回ったり大声を出したりして注意される子が見られます。みんなに迷惑をかけないように決まりを守って静かに楽しく参加できるように指導しています。

♧♧ 教 室 紹 介 ♧♧

６年２組　担任　松永 麻里子 先生

子どもたちからの提案で，毎時間３０秒間の黙想から学習を始めています。休み時間と学習時間の切り替えがしっかりとでき，心を落ち着けて授業に入ることができています。６年生になってからは，自分たちをよくしていこう，何事にも前向きに取り組もう，最高学年としてお手本になろうという意気込みが目に見えて感じられる６年２組です。

帰りの会では，「日本の歴史３６６」という歴史上の出来事を紹介する本の読み聞かせを行っています。「今日は歴史上ではどんなことが起こった日なんだろう？」と興味をもって聞き，もうすぐ始まる歴史の学習も楽しみにしている子どもたちです。

学級目標は，“Ｊoyful”。クラスが喜びに満ちるように，うれしいがあふれるクラスになるようにという願いが込められています。

松永麻里子先生は，「みんなが声を出し合い，友達の声にもきちんと耳を傾け，全員で楽しいことを始めよう！冒険する気持ちをもって前に進もう」と日々伝えています。クラスのみんなが仲良くし，「いっしょに進もう！」と互いに歩み寄れる子どもたちになってほしいと先生は願っています。

♪ 五月はマリアさまの月

１．五月はマリアさまの月　　ひともとかおる　白ゆりの
　　きよい心の　マリアさま

２．天にまします神さまに　　おん取り次ぎを　ねがいます
　　きよい心の　マリアさま